

令和 7 年 2 月 21 日

教 育 長 様

研究コース	
B グループ研究B	
校 園 コード (代表者校 園 の市費コード)	
661456	
選定番号	227

代表者	校 園 名 :	大阪市立今里小学校
	校 園 長 名 :	松永かおり
	電 話 :	6981-8800
	事務職員名 :	栗田 有加
申請者	校 園 名 :	大阪市立今里小学校
	職 名 ・ 名 前 :	校 長 松永かおり
	電 話 :	6981-8800

令和 6 年度 「がんばる先生支援」研究支援 報告書

◇令和 5 年度「がんばる先生支援」研究支援について、次のとおり報告します。

1	研究コース	コース名	B	グループ研究B	研究年数	継続研究（2年目）	
2	研究テーマ	たくましく生きる力をはぐくむ保健教育の追究 ー多様化・複雑化した健康課題の解決に向けて主体的に取り組む実践力を高めるー					
3	研究目的	1. 昨今の新型感染症や従来から児童を取り巻く様々な健康課題（生活習慣の乱れ・いじめ・不登校・心身の不調・性に関する問題行動・飲酒・喫煙・薬物乱用・アレルギー疾患や感染症等）を的確に把握し、生涯にわたって心身ともに健康に生きるための課題解決に向けたグループ研究を進める。 2. 発達段階に即した保健教育のあり方を研究し、研究授業を通じた実践検証を進めることを通して、健康課題に対してよりよく解決していく資質・能力を身につけ、生涯を通じて主体的な健康づくりができる子どもの育成を図る。 3. 保健教育に関する研修会・講演会・講習会等を開催し、教職員の学校保健に関する資質や指導力の向上を図るとともに、幼・小・中の連携により連続性・継続性を意識した保健教育を進める。 4. 大阪市学校保健会・大阪市教育委員会指導部保健体育担当の指導助言のもと、連携を深めながら取り組みを進める。					
4	取り組んだ研究内容	いつ、何のために、どのようなことを実施したのかを具体的に記載してください。（MSゴシック 9.5pt イント） ○令和6年6月14日 大阪市小学校教育研究会保健部全体会を開催した。1年目の研究実践に積み重ねて、2年目の研究の深め方等について話し合い、共通理解し、今年度の方向性を決定した。 ○令和6年6月～ 3つのグループに分かれて研究を2年目の研究をスタートした。各グループリーダーを中心に、グループ部会を持ち、2学期に開催する授業研究会に向けて指導案検討会を何度も実施し、単元開発や教材の工夫などを行った。 ○令和6年7月31日 大阪市教育センターにて小学校教育研究会主催の「学習指導基本研修会」において取り組みの報告及び若手教員への指導を行った。 ○令和6年8月 「WYSH教育研修会」のオンライン研修に参加。 ○令和6年8月20日 大阪市総合教育センターにて「生命（いのち）の安全教育講演会」を実施した。 ○令和6年10月28日 大阪市立鷹合小学校にて、第1グループ「体育科保健領域：5年 心の健康」の単元における公開研究授業と研究討議会を行い、不安や悩みへの対処には、様々な方法があり、自分に合った簡単な対処法があることについて理解できるようにした。 ○令和6年10月23日 大阪市立田島南小学校にて、第2グループ「特別活動における保健に関する指導」において「1年 げんきで あかるく もっとなかよし」を主題として公開研究授業と研究討議会を行った。日ごろの自分の発言や行動を振り返り、ちくちく言葉を言ってしまったときの相手の気持ちを考える活動を通して、よりよい解決方法を考えられるようにした。 ○令和6年11月29日 大阪市立片江小学校にて、第3グループ「性に関する指導」において「1年 すきなものの いろいろ」を主題として公開研究授業と研究討議会を行った。好きなもの・ことは、一人ひとりことなると、多様であることを理解し、違いを豊かさとして受け止め、互いに尊重できるような支援をした。 ○令和6年11月7日・8日 「令和6年度全国学校保健・安全研究大会」（宮崎県宮崎市）に参加。 ○令和7年2月7日 大阪市立今里小学校にて大阪市小学校教育研究会「第40回総合研究発表会」保健部2年次発表会を実施し2年間の研究のまとめを「研究発表会・分科会」として発表した。あわせて、1年保健指導、3年体育科保健領域の授業、5年保健指導を公開し講演会を実施した。					
5	研究発表等の日程・場所・参加者数	研究発表等を実施した日・場所・参加者数を記載してください。					
		日程	令和 7 年 2 月 7 日		参加者数	約 211 名	
		場所	大阪市立今里小学校				
		備考					

6	成果・課題	<p>大阪府教育振興基本計画に示されている、子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上および教員の資質や指導力の向上について、申請書に記載した検証方法から得られた結果と、それらからの結果に基づいた考察を、具体的に記載してください。</p> <p>【見込まれる成果１】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上 <input type="checkbox"/> 教員の資質や指導力の向上</p> <p>保健教育の実践を通して健康・安全についての学びを深めることにより、児童自身が健康づくりの担い手として、健康の保持増進につながる関心・意欲を高めることができる。</p> <p>《検証方法》</p> <p>授業前後の児童の実態・意識調査や授業の振り返り・アンケート調査等において、児童の「関心・意欲」に関わる項目で、肯定的な回答を授業前より上昇させる。</p> <p>〔検証結果と考察〕</p> <p>第1グループの「5年心の健康」では、授業後、児童から「自分では気づかなかった対処法があった」「みんなからのアドバイスを見て、がんばれると感じた」という声が聞かれ、実践に向けての関心・意欲の高まりがみられた。</p> <p>第2グループの保健指導では、その後の生活の中で児童から「それはちくちく言葉だから使っちゃだめだよ」「今日は、ふわふわ言葉を言ってもらえてうれしかったよ」などの意見が出て、本時の学習がお互いが気持ちよく日常生活を送れるような言葉や声のかけ方ができるようになり、指導したことが日常生活に生かされていることを実感した。</p> <p>第3グループのアンケートでは「友だちと好きなものは違って良いと思う」「友達の良いところを知っている」の項目において、肯定的に回答する児童の割合が事前・事後でどちらも6ポイント増加した。</p> <p>【見込まれる成果２】</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 教員の資質や指導力の向上</p> <p>大阪府小学校教育研究会保健部の研究グループ教員の保健教育に関する知識・指導力の向上を図ることができる。</p> <p>《検証方法》</p> <p>公開授業を年間3回以上実施し、保健教育における大阪府スタンダードモデルとなるような授業展開を広く発信する。公開授業・研究協議会の実施を通して、授業者及び研究グループ・参会者による実践検証を深め、成果と課題点を研究冊子にまとめる。公開授業の参加者のアンケートで、保健教育の知識や指導力の向上につながったと回答する割合を80%以上にする。</p> <p>〔検証結果と考察〕</p> <p>令和6年10月23日、28日、11月29日に各グループの公開授業を行った。研究協議会では授業者及び研究グループ・参会者による実践検証を深め、成果と課題点を研究冊子にまとめた。</p> <p>また、公開授業の参会者のアンケートでは「自分の知識を深めたり、新たな発見をしたりしましたか。」の問いに対して、「思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した参会者は100%であった。さらに、自由記述では「ICTを活用した授業展開を学ぶことができた。」「1年生のプライベートパーツの授業では、一つ一つ丁寧に指導されており、勉強になった。」「子どもたちが生き生きと授業に参加していた。」「本日の学びを自校でも生かしたい。」などの声も聞かれ、保健部の取り組みが参会者にとっても得るところの多い研究会となった。</p> <p>【見込まれる成果３】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 教員の資質や指導力の向上</p> <p>大阪府小学校教育研究会保健部の研究を推進することで、保健教育の実践が大阪府全体に広がり、教員の資質や指導力の向上が見込まれる。その結果、大阪府立小学校児童全体の健康の保持増進に対する意識や実践力を高めることにつながる。</p> <p>《検証方法》</p> <p>大阪府学校保健会（学校医・学校歯科医・学校薬剤師）、PTA、大阪府教育委員会指導部保健体育担当との定期的な情報交換を実施し、大阪府小学校教育研究会保健部の取り組み等を発信することで、全国的な視野に立った保健教育の推進を図る。</p> <p>〔検証結果と考察〕</p> <p>大阪府耳鼻科懇談会（10月16日）・大阪府内科学校保健懇談会（11月28日）・大阪府眼科懇談会（1月15日）・大阪府学校歯科保健連絡会（10月24日）への参加を通して、最新の医療と教育現場の連携を強く実感することができた。大阪府学校保健会や大阪府教育委員会事務局指導部保健体育グループ担当者との綿密な連携を図ることを通して、文部科学省の保健教育の動向や方向性を知り、保健教育に生かすことができ、大阪府に広く発信することができた。</p>
---	-------	---

6	成果・課題	<p>【見込まれる成果4】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 教員の資質や指導力の向上</p> <p>全国の保健教育の動向を把握するとともに、大阪市の取り組みについての情報発信を行い、大阪市の保健教育の向上に寄与することができる。</p> <p>《検証方法》</p> <p>指定都市学校保健協議会や全国学校保健・安全大会およびWYSH教育研修会に複数名で参加し、全国の保健教育の実践に触れ、大阪市の幼・小・中の学校園現場に発信をする。</p> <p>〔検証結果と考察〕</p> <p>宮崎市で開催された「令和6年度全国学校保健・安全研究大会」（11月7日・8日）は、ハイブリッド開催され、1名の保健部員がオンラインで、2名が現地で参加し研修を受けた。</p> <p>WYSH教育研修会は、ライブ及びオンライン開催となり、保健部から1名の保健部員が参加した。今年度は、保健部からの参加者が自校の実践を発表し、意見交換をする様子がオンデマンド配信に録画され、活用された。成果については、3月の全体会で報告する予定である。2月7日には、幼稚園、中学校からも参加があり、幼小中の学校現場に発信することで大阪市の保健教育の推進に寄与することができた。</p>
		<p>【研究全体を通じた成果と課題】 研究発表会等で使用した資料や研究冊子から引用し、端的に記述してください。</p> <p>1. 新規研究（1年目） ※継続研究2年目以降は1年目の記載をコピーして貼付する</p> <p>今年の5月に新型コロナウイルス感染症が5類に分類され、いろいろな教育活動の制限が解除されたことを受け、各グループとも対面で指導案検討会を実施し、顔を合わせて意見交換ができ検討を重ねることができた。3グループとも人数を制限することなく授業研究会を開催できたので、多くの方々の参会をいただき、たくさんの質問や意見で充実した討議会となり授業実践を通して研究を進めることができた。</p> <p>次年度は今年度の研究成果をふまえて、児童のさらなる深い学びにつながるような授業実践とすべく、創意工夫のある教材教具や指導法を保健教育を展開し、ICT機器のさらなる活用を図っていく。今後も、小学校保健教育のキーワード「より実践的に」を踏まえて、研究を推進し2年次の研究と発表につなげていく。</p> <p>2. 継続研究（2年目） ※継続研究3年目の場合は、2年目の記載をコピーして貼付する</p> <p>2年目の研究として今年度は、多様化・複雑化した健康課題に自分事として向き合い、解決に向けて自分ができることを考えて実践できる学習活動の展開について研究を進めてきた。コロナ禍で制限があった頃とは異なり、どのグループも指導案検討会を何度も重ねることができた。今年度は、2つのグループでタブレット端末を活用する授業に取り組み、ICT機器の効果的な活用について研究を進め、授業研究会後のワークショップ型討議会では、数多くの参会者の方々から意見や感想が出され、活発な研究協議ができた。多くの参会者の方から「たくさんの学びがあり、得るものが多かった。」との声をいただき、参会者の方との活動は、保健部の研究を深めることにつながった。</p> <p>3. 継続研究（3年目）</p> <p>《代表校園長の総評》</p> <p>1. 新規研究（1年目） ※継続研究2年目以降は1年目の記載をコピーして貼付する</p> <p>新型コロナウイルス感染症が第5類に分類されたことで、昨年度、一昨年度とは異なり、どのグループも指導案検討会を対面で行うことができた。また、授業研究会のワークショップ型の討議会では参会者の皆様がお互い顔を合わせての活発な研究協議ができ、保健部の取り組みが参会者にとっても得るところの多い研究発表会となった。これらの活動は、保健部の研究を深めることにつながっており、その研究を大阪市全体に発信することができた。</p> <p>2. 継続研究（2年目） ※継続研究3年目の場合は、2年目の記載をコピーして貼付する</p> <p>保健部の授業研究会・討議会を通して参会者にとっても学びの多い有意義な研究会となり、研究を深めることができた。「子どもたちが楽しそうに活動する姿が素敵だった」「ICTの取り入れ方やITの進め方・授業の展開が勉強になった」「討議会では、意見交流ができ学ぶところが多かった」などの声が聞かれ、「主体的・対話的で深い学び」の具現化として「より実践的」な学習展開を通して、児童の学びにつながった授業実践をすることができた。今年度も2年間の活動の成果を大阪市全体に発信することができた。</p> <p>3. 継続研究（3年目）</p>